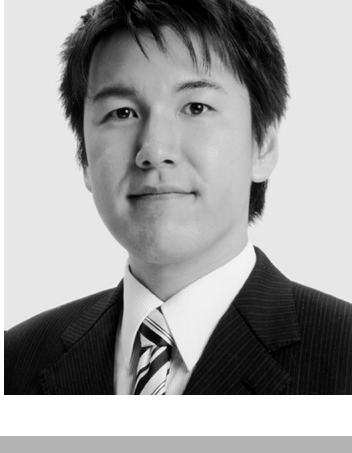


千葉市議会議員

# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2017年初夏の便り号 (通算第33号)  
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173  
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108  
ホームページは「亀井たくま」で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.ne.jp



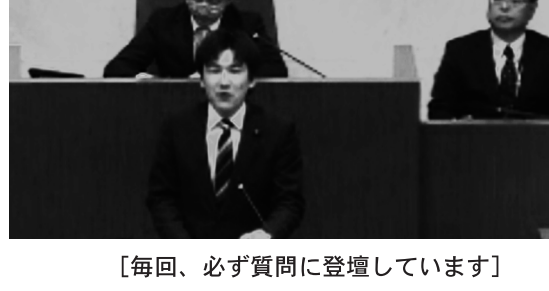
## 3月議会 & 市長選挙終わる! 今後も未来への責任を果たす市政へ邁進!

市民の皆様、お元気でいらっしゃいますか! 亀井たくまニュース33号をお届けいたします! 3月定例議会において、亀井たくまは委員会質問、一般質問に積極的に登壇いたしました。毎回、お伝えしたいことがたくさんありすぎて、「紙面の文字が細かすぎる」とのご指摘もいただいておりますので、今号から紙面を改善し、質問・答弁をさらに要約して掲載いたします。(詳細は亀井までお問い合わせください)

なお、5月の市長選挙が終わり、熊谷市政3期目が始まりました。6月26日からは、6月定例議会が開会する予定です。亀井たくまも新たな気持ちで、議会内外のさまざまな活動にさらに邁進していく決意です。どうぞ今後ともよろしくお申し上げます。

## 市内の水環境をきれいにする取り組みについて

- Q 市内を流れる9本の川の水質は年々改善されているが、きれいにするためのさらなる取り組みを。都川・葭川における今後の対策は。
- A 都川では浄化推進員やNPO、ボランティアと連携し、一斉清掃や桜の植樹などの環境保全に取り組んでいる。葭川では、上流の工場の排水の立入検査等を行っている。今後、市民参加型の河川清掃などの取り組みも検討してまいります。
- Q 都川では外来種の状況、貴重な生き物の生息現状は。
- A 特定外来生物であるブルーギルやウシガエル、アレチウリが確認されており、発見時には駆除している。貴重な生き物では、ミナメダカ、ヘイケボタル、植物ではエビモ、オニグルミが確認されており、これらの生き物が生息できるよう今後も水環境の保全に努めていく。また、近年見られなくなったニホンウナギやホトケドジョウなどと呼び戻せる環境づくりに努めてまいります。
- Q 自然環境を活かし、生き物が住める環境づくりを。
- A 谷津田保全地区15地区で土地所有者やボランティアと協定を結び、自然環境の保全に努めている。大草谷津田いきもの里や坂月川ピオトープでは、ヘイケボタルやニホンアカガエルの生息数が増加している。
- Q 千葉市の海をきれいにする取り組みを。
- A 「9都県市首脳会議」や「東京湾再生推進会議」などで国・周辺自治体と連携し、水質調査を実施するとともに、水質改善対策の検討を進めていく。
- Q 水環境の保全に向けたさらなる取り組みを。
- A 現在、「千葉市水環境保全計画」の見直しを進めており、今後も「谷津田の保全」「湧水の保全・復活」などに取り組んでいく。また、新たに「水環境保全員(仮称)」の創設、市民向けの「水辺の生き物図鑑」の作成などを行い、水環境および貴重な生き物の保全に努めていく。



【毎回、必ず質問に登壇しています】

(1)

## 亀井はこう考える! 豊かな水環境を次世代に残すための取り組みを!

市内には9本の川が存在しています。川の水質は年々改善され、平成15年からすべて環境基準をクリアしているが、市民からは「水が汚い」「ゴミが捨てられている」「川をきれいにするために何かしたい」との声も寄せられています。身近な川や海をきれいにするための取り組みを求めました。

身近な河川では、貴重な生き物が復活している地域もある一方で、生き物が見られなくなっている地域も存在します。また海に関しては、環境基準を満たしていない項目もあります。水環境を守るために浄化活動の強化、活動団体との連携とともに、ふるさとの川や海がきれいになるように、市民が水に親しみ、川や海をきれいにするための機会・イベントの創出を求めました。

## 安心・安全のまちづくりについて

- Q 地域や公共施設の「公衆電話」が大幅に減少している(1989年5400台⇒2017年1002台)。公衆電話の減少は、防犯や防災上、支障とならないか。
- A NTTによれば、低利用の公衆電話は削減する方針であるが、市街地では500メートル四方に1台、それ以外の地区では1キロ四方に1台は維持するとのことであり、最低限の台数は確保されると聞き及んでいる。
- Q 災害時に誰もが円滑に利用できる「特設公衆電話」(無料で停電時や通信規制下でも利用できる電話)の避難所への事前設置を。
- A 「特設公衆電話」は、大規模災害発生後の速やかな安否確認などに資するため、事前設置を検討していく。
- Q 市内では犯罪発生件数が減少しているが、さらなる対策を。市設置の防犯カメラの効果・活用は。29年度から「防犯カメラ設置補助制度」が始まるが、防犯・犯罪抑止への効果的な活用を。
- A 富士見町で32台の防犯カメラを設置し、犯罪捜査でも実際に年間60件の活用が行われている。富士見2丁目ではカメラ設置後、犯罪が24%減少しており、防犯カメラの効果について周知に努めていく。
- Q 「走る防犯カメラ」として、市の公用車へのドライブレコーダー設置を進め、犯罪捜査や事故調査に活用してはどうか。
- A 事故処理や安全運転意識向上のため、公用車983台中、347台に設置している。今後も設置に取り組む。
- Q 犯罪被害に遭われた市民に対して、市として支援を。
- A 対応窓口を地域安全課に設置し、県・県警のリーフレットを配布し、支援施策の周知を図っている。民間団体の「公益社団法人千葉犯罪被害者支援センター」に加入しており、今後も支援に取り組んでいく。

## 亀井はこう考える! 悲しい思いをする人が減るように、安心・安全の施策を!

市内では、犯罪発生数は着実に減少していますが、犯罪とそれによって悲しむ方々をさらに減らしていかなければなりません。「犯罪のないまちづくり」を目指して、公衆電話、防犯カメラ、空き家対策、防犯対策、被害者支援などの分野で質問・提言を行いました。この質問の1か月後に、松戸市では小学生の児童が犠牲となる痛ましい事件が発生してしまいました。今では、防犯カメラによって、多くの事件が解決しています。防犯カメラやドライブレコーダーの積極的な設置・活用を提言しました。

また、「公衆電話」が市内で減少していることは、防犯や防災面からも懸念されます。万一の事件や事故、安心・安全の面から、最低限の公衆電話が維持されるよう求めました。また、災害時における速やかな連絡手段確保策として、避難所への「特設公衆電話」設置を求め、市からは設置検討する旨の回答がありました。今後も安心・安全のまちづくりに努めていきます。

## 高齢者福祉について

- Q あんしんケアセンターの今後の機能強化は。
- A 4月から24か所から30か所に増設し、専門職も109人から137人に増員する。また質の確保と向上に向けて、区保健福祉センターに保健師・社会福祉士などの職員を配置するなど組織的な強化を図っていく。
- Q 在宅医療・介護の連携に向けた取り組みは。
- A あんしんケアセンターを中心に「多職種連携会議」を開催し、顔の見える関係を構築している。平成30年度には、「(仮称)在宅医療・介護連携支援センター」を設置する予定である。
- Q 認知症の方が「徘徊しても大丈夫なまち」にむけて、支援の取り組みを。
- A 速やかに無事に発見できるよう、GPSの活用やSOSネットワーク事業を行っているが、今後も早期発見のための優れた機器の導入の検討を行う。地域における「徘徊模擬訓練」の促進も目指していきたい。
- Q 認知症当事者を支える家族・介護者への支援を。
- A 介護者支援として、認知症の知識や介護実技の講習会を年4回、交流会を各区1回ずつ開催している。今後、当事者の方も参加しやすい環境づくり、認知症カフェとの連携などを行っていく。
- Q 当事者を支えるには、地域力も必要。認知症の方への理解啓発や居場所づくりの取り組み強化を。
- A さまざまな啓発活動も今後も行っていく。認知症サポーター養成では、これまで4万5000人を養成したが、市民全員がサポーターとなることを目指して、今後も実施していく。「認知症カフェ」も19か所まで開設しており、今後も居場所づくりに努めていく。
- Q 認知症施策では認知症当事者の方の参加・参画が大切と考えるが、施策への当事者の参加促進を。
- A 当事者の方の意見反映は大事であり、市が開催するイベント等の企画立案では当事者の方にも参画いただける場の設定を検討してまいります。
- Q 健康やいきがいくづくり、介護予防のため、いきいきプラザ・センターでの講座・イベントの充実を。
- A 今後は生涯現役に向けた生きがいくづくり・介護予防の取り組みを強化し、地域でのボランティアの育成や自主的に活動するグループづくりなどの支援に取り組んでまいります。
- Q 地域で健康づくりや介護予防活動を行っている「シニアリーダー」活動へのさらなる支援を。
- A シニアリーダー講座終了者324人中、約7割の221人が80か所の地域で体操教室を開催している。2025年までに2400名のシニアリーダーを養成するため、今後、シニアリーダーへの助言や相談体制の整備など、支援を厚くしていく。
- Q 多くの地域で「地域包括ケア」の構築を。地域の力を育てるために、担い手となるボランティアや住民組織の育成に向けた取り組みを。
- A 新年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まることから、支えあい・助け合い活動に取り組む地域団体への補助制度を開始するなど、地域の方々の活動やモチベーションを育む施策に取り組む。今後、ボランティア活動への支援に加えて、新たなボランティアの育成手法を研究していく。

## 亀井はこう考える! 高齢になっても、住み続けられる地域づくりを!

高齢者福祉について、地域における施設などの介護基盤の充実、認知症の方々への支援策、地域包括ケアシステム構築のための地域基盤・人材づくりについて質問・提案を行いました。認知症施策では、徘徊しても大丈夫なまちづくりを目指し、新たな機器等の活用、家族支援、地域における理解促進、当事者の方の事業や施策形成への参加促進などについて提起しました。認知症サポーターは全国で850万人。サポーターの中高校生が徘徊していた認知症の方を助けたというニュースを目にすることも増え、そのたび心が温かくなる思いです。本市でも小中学校等での養成講座の開催拡充などを進めており、さらなる理解促進を求めました。

また、生涯現役社会にむけて、健康寿命を延ばし、元気な老後を送っていただくことが大切です。いきがいく・健康づくりや介護予防の機会は今後、いきいきプラザ・センターのみならず、公民館など地域の身近な場所で行われることが、必要です。シニアリーダーが増加してボランティアへの支援を求めました。共生社会の実現に向けて、今後、自助や互助の役割が活きていきます。また今は障がいのある方、こどもの施策でも、地域包括ケアが推進されなければなりません。そのためには地域の力の再生・構築が必要です。私も微力ですが、地域からできることを実践したいと考えています。

## 市長選挙について

- Q 3月の知事選と5月の市長選が同時に行われれば、いくら経費節減できるか。
- A 市長選挙用2億7000万円に対して、1億5000万円が節減できる。
- Q 市長選挙が仮に無投票となれば、経費はいくら節減できるか。
- A 市長選挙用2億7000万円に対し、最大で約1億4000万円が節減できる。
- Q 選挙の関心を高めることも重要だ。以前の議会(平成27年6月議会)で選挙公報をもっと身近な場所で配布してはどうかと提案したが、取り組みは。
- A 市長選挙では、新たに市内のセブンイレブン全店(160店舗)で選挙公報を配架していく。
- Q 市民が「投票しやすい環境づくり」に向け、さらなる取り組みを。
- A 知事選では、新たに若葉区でラパーク千城台に期日前投票所を設置した。今後も商業施設などへの期日前投票所の設置など、投票環境の向上に努めていく。
- Q 18歳選挙権がスタートしたが、市長選においても「若者への啓発」や「選挙の体験」などの取り組みを。
- A 今後も小学校での模擬選挙、高校での出前授業などの「主権者教育」を進めるとともに、若者への意識啓発、高校生の選挙事務従事などの取り組みを進めていく。(→市長選特集は4面へ)



(3)

## 熊谷市政3期目がスタート! ~議会も負けずに、ともに切磋琢磨する決意~

市長選が終わりました。市長選の期間を通じて、私たちの市議会議員も街頭に立ち、市民の皆様から多くの意見を頂戴しました。

市長と議員は、「二元代表制度」(市長と議員はそれぞれ市民の代表として選ばれています)となっています。市長とは良い意味で「競争相手」「ライバル」として、市民のために「切磋琢磨」する関係でなければなりません。

議会も常に研鑽し、今後も市長と真摯な議論を重ねていきたいと思っています。

私も皆様からいただいたさまざまな意見をまた市政に反映すべく、自身の名前の通り、「切磋琢磨」していく決意です。



## 予算委員会等でも皆様の声を発言・提言! (亀井が発言した主な施策)

- 予算審査特別委員会
  - 千葉駅周辺の賑わい・活性化促進を!
  - 東千葉駅の各駅停車減少への対応を!(快速停車を!)
  - 住宅密集市街地(狭あい地区)の改善を!
  - 千葉公園の活性化・魅力向上への取り組みを!
  - 千葉公園の掃打池の水浄化を!
  - ゲリラ豪雨・冠水地区対策の促進を!
  - 身近な道路の安全対策を!
  - 駅周辺の自転車駐輪場のさらなる整備を!
  - 機械式自転車駐輪場の不正駐輪対策を!
- 特別養護老人ホーム・認知症グループホームの整備促進を!
- 高原千葉駅の存続問題の前進を!
- 地域の空き家対策推進を!
- 「空き家」を市へ寄付するような制度はできないか!
- 特別支援教育の充実を! 特別支援学級の増設を!
- 特別支援学校・学級の教員の資格免許保有率向上を!
- 市職員の不祥事の再発防止を!

## 市政へのご意見は

TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話 090-3694-4173

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp



フェイクブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくま で検索ください!

## 亀井たくま(37歳)、日々修行中です!!

1980(昭和55)年生まれ。椿森出身・在住。  
・作草部幼稚園 年賀小・椿森中  
・市立千葉高 早稲田大学政治経済学部  
・早稲田大学大学院公共経営研究科修了。  
・2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。

### 地域の仕事

- ・千葉市スポーツ推進委員
- ・千葉市青少年相談員
- ・院内小、椿森中地区団体役員
- ・椿森3丁目・5丁目地区役員
- ・行政書士会千葉支部幹事

- ・行政書士・社会福祉士
- ・精神保健福祉士・愛玩動物飼養管理士
- ・防災士・ホームヘルパー2級

### 議会の仕事

- ・都市建設委員会副委員長
- ・都市計画審議会委員

### 趣味

- ・明治〜昭和の懐メロ。
- ・好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎。(地域で演奏・茶話会のボランティアができます)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくま と 亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

(4)